

2013年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	生物環境科学科						
科目名	歴史を学ぶ						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	2・3年前期		
必修・選択の別	選択科目(バイオサイエンスコース) 選択科目(食品生物資源コース) 選択科目(エネルギー・環境コース)						
担当者	川上 秀人						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間が流れていることを認識する。(A1)</li> <li>・種々のできごとは多くの要素で構成されていることを知る。(A1)</li> <li>・要素の軽重によって取捨選択していることを認識する。(A1)</li> <li>・自分の中の歴史に気づく。(A1)</li> </ul>						
日程と内容	4/9 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 4/16 歴史とは何か 4/23 分類すること 4/30 小論文の書き方 5/7 書き手と読み手 5/14 見るということ 5/21 就職するということ 5/28 文化とは何か 6/4 選択すること 6/11 考える力 6/18 アイデアの発想 6/25 読書の方法 7/2 穴について 7/9 歴史的 position 7/16 定期試験 7/23 総括						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間が流れていることを認識する。(A1):達成した</li> <li>・種々のできごとは多くの要素で構成されていることを知る。(A1):達成した</li> <li>・要素の軽重によって取捨選択していることを認識する。(A1):達成した</li> <li>・自分の中の歴史に気づく。(A1):達成した</li> </ul>						
反省点	翌々週の授業内容をレポート(全5回)として提示して、自己学習の目標を定めた。受講生の記述した内容を踏まえて講義を進めたので、理解はできたと思われる。						
来年度の計画	レポートを中心に事前学習の内容を提示する方法は継続していく。 出席の代わりにSPIテストを使用していることも継続したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は6.8で、全体の平均値8.0を下回っている。それに対して、学生自身の予習・復習の自己評価は3.8で、全体の平均値3.6を上回っている。成績と全く連動しておらず、一部の学生の授業評価のいい加減さが見える。						
履修登録者数	14名	定期試験 受験者数	6名	合格者数	6名	合格率	100%